

## 2021 年度事業活動計画書

常任委員会名	高等教育行政対策委員会	分掌者	菱沼典子
構成メンバー	委員長：菱沼典子（三重県立看護大学） 副委員長：石井邦子（千葉県立保健医療大学） 委員：井上智子（国立看護大学校）、叶谷由佳（横浜市立大学）、 河口てる子（日本赤十字北海道看護大学）、岸田佐智（徳島大学大学院）、 小松浩子（日本赤十字九州国際看護大学）、小山真理子（日本看護系大学協議会）、 原玲子（日本赤十字秋田看護大学）		
活動の主旨と活動計画	大学における看護学教育の課題解決と質向上を推進するために 1. 関係省庁、諸団体との連携を図り、また働きかけを行う。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・文部科学省、厚生労働省等への要望書の作成</li> <li>・看護関連の検討会への意見発出</li> <li>・社会情勢の動きを把握し、必要時日本看護協会等関連団体と協働</li> <li>・適宜、声明や提言案を作成</li> <li>・看護系議員との連携</li> </ul> 2. 会員校の教員に対し、Academic Administration を支援する活動を行う。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・大学教育・看護学教育に関する情報提供</li> <li>・大学の経営、運営管理、組織、戦略の立て方等についての情報提供</li> </ul>		

常任委員会名	看護学教育質向上委員会	分掌者	吉沢豊子
構成メンバー	委員長：吉沢豊子（東北大学大学院） 委員：石橋みゆき（千葉大学大学院）、鎌倉やよい（日本赤十字豊田看護大学）、 善生まり子（埼玉県立大学）、縄秀志（聖路加国際大学）、細田泰子（大阪府立大学）、 前田修子（金沢医科大学）、森山美知子（広島大学大学院）		
活動の主旨と活動計画	1. 「看護学実習を止めるな！！」キャンペーン案を1年間展開する。今回海外看護系大学の 実習状況の調査からコロナ禍で看護学実習が止まることなく動いていたことがわかった。 このことをふまえ日本では、何故できなかったのかを探り、シンポジウムの開催、一般市民 への広報、実習が止まってしまった中小病院、施設などへの実習を止めないための情報 提供を展開する。 2. 科研費審査システム改革 2018 の影響に関する調査の最終年として実施する。		

常任委員会名	看護学教育評価検討委員会	分掌者	
	休会		

<b>常任委員会名</b>	<b>高度実践看護師教育課程認定委員会</b>	<b>分掌者</b>	湯浅美千代 小松浩子
<b>構成メンバー</b>	委員長：湯浅美千代（順天堂大学） 副委員長：小松浩子（日本赤十字九州国際看護大学） 委員：林直子（聖路加国際大学）、箕持知恵子（大阪府立大学）、 工藤美子（兵庫県立大学）、檜木野裕美（大阪府立大学）、 野末聖香（慶應義塾大学）、山口桂子（日本福祉大学）、 渡部節子（横浜市立大学）、小林恵子（新潟大学）、高見沢恵美子（関西国際大学）、 森下安子（高知県立大学）、武田祐子（慶應義塾大学）、酒井明子（福井大学）、 浦田秀子（長崎大学）、神里みどり（沖縄県立看護大学）		
<b>活動の主旨と活動計画</b>	高度実践看護師教育課程の認定を推進し、高度実践看護師の増加と質の向上に寄与する。 1. 高度実践看護師教育課程の新規認定の実施：会員校からの申請に基づき、専門分科会（専門看護師 14 分科会、ナースプラクティショナー1 分科会）を組織し、教育課程の認定を行う。 2. 高度実践看護師教育課程の更新認定（10 年目）の実施：認定後 10 年を経過した会員校からの申請に基づき、更新認定審査会を組織し、教育課程の更新認定を行う。 3. 高度実践看護師教育課程認定に関する情報発信および相談業務の充実：専門看護師 38 単位申請、ナースプラクティショナー46 単位申請について、会員校からの質問や問い合わせに応じ、申請の支援を行う。 4. 2022 年度版審査要項の作成：2022 年度版を作成し、会員校へ審査要項を配布する。また審査要項（申請の様式を含む）は、本協議会ホームページにも掲載する。 5. 審査規準等の検討：必要に応じ、教育課程に関する審査規準等の検討を行う。 6. 高度実践看護師教育課程の分野特定：新たな分野特定が申請された場合には、基準に基づき審議を行う。 7. 高度実践看護師教育課程の質の向上について検討する。 ・ APN グランドデザイン委員会と連携をとり検討する。 ・ 日本看護協会との連携を強化する。 ・ 感染症看護専門看護師教育の促進を図る。 8. 認定委員会、専門分科会の効率的な運営等について検討する。 ・ 高度実践看護師教育課程認定委員会事務局と本協議会事務局の業務分担について検討する。 ・ 海外の認定システムについて調査する。		

常任委員会名	広報・出版委員会	分掌者	堀内成子
構成メンバー	委員長：堀内成子（聖路加国際大学） 委員：佐藤みほ（横浜市立大学）、瀬戸山陽子（東京医科大学教育 IR センター）、 園田希（日本赤十字九州国際看護大学）、益田美津美（名古屋市立大学）、 米倉佑貴（聖路加国際大学）		
活動の主旨と活動計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>COVID-19 禍における JANPU の公式発表やそれに関連した取材にタイムリーに対応する。</li> <li>会員校の看護教員が情報交換できる Facebook グループ「JANPU Cafe」の活発な意見交換の場の提供促進</li> <li>会員校と高校生とその保護者が看護情報に触れるための定期投稿を開始したソーシャルメディア（Facebook と Twitter）の運用継続、投稿内容の充実</li> <li>一般向け紙媒体のパンフレットの作成・更新と、ホームページからも閲覧可能な WEB 版パンフレットの作成・刷新</li> <li>高度実践看護師の積極的な広報（現役看護師にわかりやすい CNS への道のり図、活躍する CNS/NP の紹介、他のメディアへの取材依頼）</li> <li>【新企画】オープンキャンパス情報の特設ページと高校生向けオープンキャンパス巡りの構築と意見収集</li> <li>上記の新しい取り組みの変化を把握するためのモニタリングを実施する。</li> </ol>		

常任委員会名	国際交流推進委員会	分掌者	宮本千津子
構成メンバー	委員長：宮本千津子（東京医療保健大学） 委員：池田真理（東京女子医科大学）、上野里絵（東京医科大学）、 落合亮太（横浜市立大学）、グレッグ美鈴（神戸市看護大学）、 志田京子（大阪府立大学）、寺本千恵（広島大学大学院）、深堀浩樹（慶應義塾大学）、 増澤祐子（東京医療保健大学）		
活動の主旨と活動計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>主旨           <ol style="list-style-type: none"> <li>看護高等教育における国際活動・国際交流を積極的に推進する。</li> <li>East Asian Forum of Nursing Scholars (EAFONS) の Executive Committee に参加し、連携を促進する。</li> <li>看護系大学における国際的な教育・研究活動を推進・支援する。</li> </ol> </li> <li>活動計画           <ol style="list-style-type: none"> <li>看護系大学の教育・研究における国際連携・協働の推進・活性化を目的とした研修会を開催する（1 回／年）。</li> <li>第 25 回 EAFONS 開催（台湾）に向けて、開催大学への協力や他国の Executive Committee Members との連絡調整を行うとともに、JANPU 会員校への周知、参加支援を行う。</li> <li>EC Convenor（－2023）に着任した池田真理氏（国際交流推進委員）を支援し必要時作業を分担する。</li> <li>第 26 回 EAFONS 主催予定国として開催方法を検討し、開催準備に着手する。</li> </ol> </li> </ol>		

常任委員会名	データベース委員会	分掌者	西村ユミ
構成メンバー	委員長：西村ユミ（東京都立大学） 委員：朝倉京子（東北大学大学院）、石田千絵（日本赤十字看護大学）、 小檜山敦子（文京学院大学）、佐藤政枝（横浜市立大学）、 山川みやえ（大阪大学大学院）		
活動の主旨と活動計画	<p>1. 主旨：本委員会は日本看護系大学協議会の会員校における学習環境、教育内容、社会的役割などの現状を毎年数量的に把握し、社会及び会員校における看護学教育の在り方の検討、教育政策、看護政策などへの提言のための基礎資料を作成し、より一層の看護学教育の向上を目指している。</p> <p>2. 活動計画：日本私立看護系大学協会との共同実施事業として、両組織の加入校（短期大学を除く）を対象に、「2020 年度 看護系大学に関する実態調査」を企画・実施する。実施に向けて、看護学教育のあり方の検討、政策提言等に活用可能な情報が得られるよう、設問をスリム化する。委員会及び会員校が再分析可能なデータベースの構築、及び活用方法について検討する。</p>		

常任委員会名	災害支援対策委員会	分掌者	片田範子
構成メンバー	委員長：片田範子（関西医科大学） 委員：太田晴美（東北文化学園大学）、大野かおり（兵庫県立大学）、 神崎初美（兵庫医療大学）、酒井明子（福井大学）、内木美恵（日本赤十字看護大学）、 三橋睦子（久留米大学）、森下安子（高知県立大学）		
活動の主旨と活動計画	<p>主旨：本委員会は、防災及び災害支援に係る事業を行うにあたり、看護系大学の防災組織の在り方や広報、防災教育などの重要事項を協議し、本事業の円滑、適正な運営を図ることを継続する。</p> <p>1. 被災後の教育継続に関する連携体制の維持・精錬：「教育継続支援に向けた災害発生時の情報共有と対応」について JANPU 全国ブロックに分けたブロック会議、並びに小ブロックの在り方について各大学社員から推薦された災害連携教員とともに、構造の確定と活動内容の共通認識の向上、日常的連携並びに情報共有の強化、継続した組織の維持（災害連携教員並びに本部委員交代を含む）を図る。</p> <p>①委員会の開催、全体会議の開催（1 回）、北海道東北、中部、関東（東京、並びに東京外）、関西近畿、中国四国、九州沖縄の 7 ブロック会議をそれぞれ 3 回程度、それと連動した委員会を開催し、目的を遂行する。</p> <p>②精錬した連携体制のポンチ絵の改正並びに説明文書の作成とホームページへの公開。</p> <p>2. 防災フォーラムの開催（1 回/年）：全会員校に向けて、災害連携教員＋社員＋所属教員を含めて、組織の紹介、活動報告、見出されている課題等について共有する。</p> <p>3. 各ブロック並びに小ブロックから出された災害を経験した大学の取り組みや課題を会議録から抽出し、継続した審議ができるように全ブロックでの共有を行い、各大学の特性に合わせた体制や活動づくりを推奨する。計画 2（防災フォーラムの開催）において発表できるように工夫する。</p> <p>4. 災害発生時の被災した会員校への対応を継続し、公表する工夫を行う。</p> <p>5. 防災マニュアルの見直しと改訂</p>		

<b>臨時委員会名</b>	<b>APN グランドデザイン委員会</b>	<b>分掌者</b>	川本利恵子
<b>構成メンバー</b>	<p>委員長：川本利恵子（湘南医療大学）</p> <p>委員：秋山智弥（名古屋大学）、小野美喜（大分県立看護科学大学）、          神里みどり（沖縄県立看護大学）、小松浩子（日本赤十字九州国際看護大学）、          佐藤幸子（山形大学）、真田弘美（東京大学大学院）、田中美恵子（亀田医療大学）、          中村伸枝（千葉大学大学院）、野末聖香（慶應義塾大学）、松下由美子（佐久大学）、          山勢博彰（山口大学大学院）、山本あい子（日本私立看護系大学協会）、          渡邊眞理（湘南医療大学）</p>		
<b>活動の主旨と活動計画</b>	<p>本委員会は、日本におけるグローバル水準の高度実践看護師制度の構築を目指して、高度実践看護師の役割や裁量の拡大を実現するための制度改正、資格や教育課程の認定のあり方、養成を促進するための方略等について、関係する団体や機関と連携・協働しながら、幅広い観点から具体的な戦略を提示し、制度構築の実現に向けて活動する。</p> <p>1. 「2040 年度に向けた APN グランドデザイン」の再検討          2. NP 教育課程に関する実態調査結果の分析と課題の明確化          3. 関係機関・団体との連携・協働を進め、APN 制度構築の道筋をつけるための活動</p>		

<b>臨時委員会名</b>	<b>JANPU ナースプラクティショナー (JANPU-NP) 資格認定委員会</b>	<b>分掌者</b>	川本利恵子
<b>構成メンバー</b>	<p>委員長：川本利恵子（湘南医療大学）</p> <p>副委員長：田中美恵子（亀田医療大学）</p> <p>委員：神里みどり（沖縄県立看護大学）、佐藤幸子（山形大学）、          鈴木美穂（聖路加国際大学）、松下由美子（佐久大学）、渡邊眞理（湘南医療大学）</p>		
<b>活動の主旨と活動計画</b>	<p>本委員会は、日本看護系大学協議会ナースプラクティショナー（JANPU-NP）資格認定規程および細則に基づき、JANPU-NP の資格認定に係る活動を行う。</p> <p>1. 第 3 回 JANPU-NP 認定審査の実施          2. 第 4 回 JANPU-NP 認定審査の準備と受験者募集</p>		